

高根沢町新庁舎整備検討委員会 議事録

会議名	第3回 高根沢町新庁舎整備検討委員会
開催日	令和4（2022）年3月11日（金）
場 所	新型コロナウイルス感染症の拡大状況に鑑み、書面にて開催した。
出席者	意見表明書の返送があった委員を出席者とした。 【委員】 佐藤栄治、小林修、牧恒男、笹崎明久、佐藤永倫、山本容子、 山崎康之、檜山武郎、稲葉和彦、見目智史、高瀬美貴子、齋藤満則、 加藤幸子、加藤正秋、栗橋幸子、五月女昌寛、櫻井典子、軽部守人、 二宮絵美、伴内由香
傍聴人数	—
内 容	議事 新庁舎整備基本方針の素案について 「高根沢町新庁舎整備庁内検討会議」（職員による庁内組織）における意見 聴取結果を基に事務局がまとめた新庁舎整備基本方針の素案について、新庁 舎整備検討委員会委員の意見を聴取した。 結果（意見）は別紙のとおり。

高根沢町新庁舎整備基本方針（素案）に対する意見

- ・ 枠内が委員会に提示した素案、枠外がそれに対する委員の意見です。
- ・ 委員会に提示した素案は、新庁舎の位置や機能が決定していないことを前提としています。今後、新庁舎の位置や機能に関する検討を進め、整備費用やその他の条件を整理していく中で内容が変更となる場合があります。

1 誰もが使いやすく親しみやすい庁舎

ユニバーサルデザインやインクルーシブデザインを取り入れ、庁舎を利用する誰もが使いやすく親しみやすい庁舎とします。また、職員にとって働きやすく機能的な庁舎とします。

【実現するために…】

- ・ エントランスや待合ロビーは、開放的で明るい雰囲気となるよう適度なゆとりを持たせ、町民の利用頻度が高い窓口をエントランス付近から視認できる位置に配置します。
- ・ プライバシーへの配慮の観点から、窓口カウンターに衝立を設置します。また、打合せ等に使用できる目隠しのあるブースや個室の相談室等を配置します。
- ・ 赤ちゃんや小さなお子さん連れの方が安心して利用できるおむつ替えや授乳のためのスペースを整備します。また、待合ロビーにはキッズスペースを設けて、手続き中の待ち時間を楽しく過ごせるよう工夫します。

【庁内の意見】

- ・ (窓口について) 単に書類を預かるといった用件なら案内窓口で用を済ますことができ、込み入った用件であれば担当部署の窓口で対応する方法が効率的。
- ・ 庁舎が2階以上の建物になる場合、各階でのワンストップを目指せばよいのでは。また、入口から他の階の窓口まで見えれば、場所を指し示して案内ができる。
- ・ 来庁を予約したり、どの窓口に行けばいいか分かるようなシステムを導入したらどうか。ただし、来庁者の中には自分の用件が明確にならない方もいるので、すべてを機械任せとするのではなく、銀行の案内係のように用件を聞いて行き先を案内してくれる人（コンシェルジュ）がいるといい。
- ・ 来庁者や職員の安全を守れるよう、防犯体制を強化して欲しい。
- ・ 職員がリラックスして休憩できるスペースを設けて欲しい。

【委員の意見】

- ▷ 「1 誰もが使いやすく親しみやすい庁舎」を「町民が利用しやすく親しみやすい庁舎」としたらどうか。「ユニバーサルデザインやインクルーシブデザインを取り入れ」の部分で「庁舎を利用する誰もが利用しやすいデザイン（高齢者等の利用も考えたユニバーサルデザイン等）を取り入れ」としたらどうか。また、実現の方策として「他庁舎の業務をまとめることから、新庁舎ですべての処理ができ、利用しやすいワンストップサービスにす

る。」というのはいかがでしょうか。

- ▷ 性別・年齢・人種・民族・・・等々を問わず、多様な方々が「高根沢町って住みやすい！ 良いところ！」と感じて頂ける庁舎とするため、ダイバーシティの観点を盛り込むことも1つかと思った。(外国人の居住者への配慮、障がい者への配慮・・・ほか。インクルーシブデザインという言葉の中に包含されているかもしれないが。)
- ▷ 役場で働く職員が使いやすい施設であればいいと思う。
- ▷ 段差や障害物等がない、安全性が高いバリアフリーな庁舎がいい。
- ▷ 2階建て以上になるならエレベーターを設置して欲しい。
- ▷ トイレは様式便座にして欲しい。
- ▷ ユニバーサルデザイン、バリアフリー関係について実現するため、次の点について検討して欲しい。
 - ・案内サインなどについて、障がい者の窓口までの分かりやすい案内表示、災害時はもちろん、通常でも分かりやすい館内表示、車いす・ベビーカーへの影響が少ない視覚障がい者用誘導ブロックなどの敷設、視覚障がい者へのインターホン・音声案内、聴覚障がい者用のテレビ電話、総合案内カウンターの設置などを検討していただきたい。
 - ・トイレについて、車いす利用者への配慮、オストメイト対応、ベッド付き、左右の麻痺に対応できるような手すり付き、音声案内付きなどを検討していただきたい。
 - ・障がいを始め、福祉関係の手続きはすべて1階の1か所で済むように検討していただきたい。併せて相談窓口の集約も希望する。
 - ・高齢者、障がい者が手続き中の待ち時間に休憩できる憩いの場を検討していただきたい。
 - ・平成28年4月1日より施行された「障害者差別解消法」にある障がい者への合理的配慮は行政機関では義務化されている。できれば整備にあたって当事者団体の意見を聞く場を設けてはどうか。
 - ・身障用の駐車スペースを広く多めに確保し、屋根の設置を検討していただきたい。
- ▷ 外見ばかりでなく、シンプルで誰もが分かりやすい、明るく開放的な庁舎にして欲しい。入口のエントランス、待合ロビーはゆとりある空間がいい。
- ▷ 掲示板(案内板)は、見やすく、どの部署に行けばよいのか分かりやすい方がいい。入口に、ある程度なんでも分かる案内人がいる総合カウンターのようなところがあってもよい。
- ▷ コンシェルジュは必要だと思う。
- ▷ 私たち町民は何かを申請するとき、何が必要でどの課へ行けばよいかさえ困っている。だから、総合窓口と書いてあるだけで安心して聞ける。この方針を支持する。
- ▷ 交通整理的な役割を果たす総合窓口を設置したらどうか。また、防犯や安全面から考えると、ブラインド等、死角になるスペースや設備は極力避けるべきだと思う。
- ▷ 来庁者の内容によってはプライバシーへの配慮ができるよう、仕切りや個室等の必要性があると思う。
- ▷ 来庁者の数や用件に応じたカウンターを考慮すべき。また、暴力への対応として、すぐ

に乗り越えられるような低いカウンターではないものを検討したり、アクリル板でしっかり仕切ってあったりすると安心なのでは。

- ▷ 赤ちゃんのおむつ替えスペースについて、衛生面や臭気を考えると、やはりトイレ内(男女とも)の設置が妥当なのではないか。
- ▷ キッズスペースについて、親が手続等に集中しているときに目が届かない可能性があるのでは。写真にあったキッズスペースだと、出入口が通路側になっており、壁が死角になっているので危険なように思う。
- ▷ 庁舎そのものもそうだが、駐車場についても、来庁者だけでなく職員の間も含めて検討して欲しいと思う。というのも、夕方、職員が職員駐車場に向かって歩いていくのが見えにくい、危ない、という声を多数聞いているから。使いやすく、親しみやすく、総合的に町民すべてにとって安全な新庁舎であって欲しいと思う。
- ▷ 庁舎内や駐車場などに防犯カメラを設置するなどして、来庁者や職員の安全を守ったらどうか。
- ▷ 役所で働く人の安全と、万が一の場合に住民のサポートができる工夫のある施設であれば十分だと思う。

【委員長コメント】

誰もが使いやすく親しみやすい庁舎、に関する事項なので、多数の個別の案件については、基本方針ではなく、基本構想?・計画?(次の段階の委員会)に移動すると良いと思います。ただ注意を払いたいのは、“誰もが”, “町民”, “職員”, “利用者”, “子連れ”, 等のどんどん制約がかかる階層的なイメージを正しく記載することが必要です。あっちを書くところちも、となりがちですが, “実現するために, 例えば・・・”, といった表現に変えるか, 代表例をもう少し増やすといいかもしれません。

2 災害に強い庁舎

災害時は、庁舎内に情報収集や災害復旧活動を行う拠点となる災害対策本部を設置します。また、業務継続計画（BCP）に基づき、必要な業務を止めることなく行うことが求められます。このため、高い耐震性能を備え、必要なライフラインが確保できる建物とします。

併せて、感染症等の新たな脅威にも対応した庁舎とします。

【実現するために…】

- ・ライフラインの一時的な遮断に備え、蓄電池や自家発電装置等を設置します。
- ・災害対策本部は、災害対策本部長である町長との連絡が容易な場所に設置できるようにします。また、災害対策本部とは別に、参集した消防団員が待機し活動できる場所の整備を検討します。
- ・感染症などの新たな脅威への対応として、不特定多数の人の動線と職員の動線を分け、人と人の距離を適度に保てるレイアウトを検討します。また、新たな生活様式を踏まえたしつらえや換気機能に優れた空調設備等を検討します。

【庁内の意見】

- ・新庁舎整備の場所は、洪水ハザードマップの浸水想定区域外かつ、災害時の物資輸送や職員が参集しやすいようある程度の道路幅員のある場所を選定してほしい。
- ・災害に強い庁舎として、災害時などに備えヘリポート整備を検討してほしい。ヘリポートの離発着には、高架線や鉄塔等との位置関係を考慮する必要があるため新庁舎の場所の選定の参考としてほしい。
- ・災害対策本部を立てる場所は、災害対策本部長や副本部長との連携が容易で、かつ、既存設備である防災行政無線や避難所間を結ぶ情報ネットワークシステムなどのほか、独立して災害対策本部を運用できるよう非常用電源や蓄電池からの給電設備などを備えてほしい。
- ・夜間や休日の出動時に、災害対策本部とは別に消防団員が参集し活動できる場所と緊急車両である消防車両などが活動場所の近くに配備できるとよい。
- ・感染症対策として、パーテーションやアクリル板を設置してほしい。

【委員の意見】

- ▷ 「2 災害に強い庁舎」を「災害に強く、災害対策機能を持った庁舎」としたらどうか。
- ▷ ライフラインの備えとして、蓄電池や自家発電装置等はこれから大切である。高根沢町でもどのような災害があるか分からない。想定外という事だけは絶対避けて欲しい。また、感染症の対応として人と人の距離を保てるレイアウトを検討したり、ヘリポートなどの検討を考えているため、この方針を支持する。
- ▷ 消防団としては、地域安全課の近くに、災害対策本部が開設できるような会議室兼本部詰所に使えるオープンスペースが併設されているとよいと思う。外から直接出入室が可能で、消防本部車両車庫があると、なおよいと思う。また、そのオープンスペースに公衆

Wi-Fi が整備されれば、情報収集に使える。

- ▷ 災害時の備蓄物品収納スペースと、災害時の参集職員（関係者含む）の数によって必要なスペースを検討して欲しい。（災害対策本部会議以外に必要となるスペース）
- ▷ 発電機等については、容量の小さい機械を数多く用意するのではなく、馬力が高いものでないと意味がない。自家発電のことを考えると、屋根にソーラーパネルを設置してもよいと思う。
- ▷ 災害時は、蓄電池、自家発電装置などでライフラインが遮断されない庁舎がいい。
- ▷ 自家発電設備の設置場所を地下にする場合、雨水が流入しないよう注意して欲しい。
- ▷ 石末の高根沢消防署と常に連携ができるような場所で、ヘリポートなど災害時に必要とされる設備を整備したらどうか。
- ▷ 感染症などの新たな脅威への対応として様々な案が出ているが、欧米を参考に、車から降りず、ドライブスルーで対応できるような形もありなのではないかと思った。（海外の銀行のドライブスルーATM のようなイメージ）
- ▷ 内容的には賛成だが、パーテーションやアクリル板等の設置については、閉鎖的になってしまうのではないかと思う。

【委員長コメント】

本項においても、多数の個別の案件については、基本方針ではなく、基本計画（次の段階の委員会）に移動すると良いと思います。また同様に、階層的な記述が必要です。新たな脅威に対する記述は難しいのですが、災害時にも、交流等にも使用可能な多用途スペースの確保などを書くとも思うのですが、これを書くとも今度は庁舎規模、予算の増大につながるのでは、どこまで書くかが求められてきます。検討？ぐらいを書いておくか...

3 将来的な変化を見据えた庁舎

将来的な町の姿や社会全体の変化を見据え、最新の技術や考え方を積極的に取り入れながら新庁舎整備をすすめます。

【実現するために…】

- ・執務室は機構改変に柔軟に対応できるよう、仕切りのないオープンフロアとします。また、ケーブル類を床下に配線するフリーアクセスフロアの採用を検討します。
- ・高度情報化に対応した庁舎とするとともに、個人情報の保護や防犯の観点から、サーバ室など重要な箇所について入退室管理などのセキュリティを強化します。

【庁内の意見】

- ・業務効率を向上させるため、AIやRPAの活用も検討したい。
- ・DXの浸透によって様々な行政手続きがオンラインで完結するようになるため、来庁目的の変化や来庁者そのものの減少が予想される。一方で、オンラインの手続きに不慣れな方への配慮も必要である。
- ・10年、20年先の業務形態や社会的な変化を見据えて庁舎整備を考えていく必要がある。

【委員の意見】

- ▷ 仕切りのないオープンフロアを作ったり高度情報化に対応した庁舎となっているので支持する。特に、セキュリティの強化は必要だと思う。
- ▷ 個人情報の保護や防犯の観点からのセキュリティの強化については、サーバ室など重要な箇所への入退室管理以外にも対策を講じることが必要かと思った。
- ▷ 「3 将来的な変化を見据えた庁舎」を「将来の変化に対応できる庁舎」としたらどうか。また“実現するために”の部分で「また、ケーブル類を～」を「また、レイアウト変更を容易にするためケーブル類を～」としたらどうか。
- ▷ フリーアクセスフロアは、事前に機器の配置をよく計画しておかないと、コードだらけ、たこ足配線だらけになってしまうと思う。それぞれの課等との事前調整が大切だと思う。
- ▷ 将来的にオンラインが主になると思うが、馴染めない人に対しても配慮して欲しい。

【委員長コメント】

将来的な変化（働き方、利用方法、高度情報化など）、技術（セキュリティ、AI、RPA、DXなど）、建物・建具の仕様（サーバ室、フリーアクセス、オープンフロアなど）を整理しつつ記述をすると理解しやすくなると思います。

4 環境に配慮し、経済的な庁舎

豊かな自然を後世に引き継ぎ、環境に配慮した持続可能なまちづくりを進めていくため、ゼロカーボン社会の実現に資する庁舎を整備します。

また、将来世代に過度な負担を残さないよう、整備規模や設備機能と維持管理費を含めたコストとのバランスを見極めて事業を進めます。

【実現するために…】

- ・施設間の移動を減らすため、庁舎機能を集約します。また、電気自動車用の急速充電器を整備します。
- ・太陽光発電設備等を設置し、日常的に使用する電力の一部を庁舎で創る再生可能エネルギーでまかさないです。
- ・自然採光や通風など自然のエネルギーを最大限に活用することで、省エネルギー化とライフサイクルコストの削減を実現します。また、維持管理や設備の更新がしやすく、長期的な視点でコストの低減が図れる庁舎とします。

【庁内の意見】

- ・何よりも維持管理のしやすさを優先してほしい。
- ・見た目より機能性や実用性を重視すべき。シンプルな庁舎がいい。
- ・今後、町がゼロカーボンシティ宣言をするならば、新庁舎は高根沢町におけるゼロカーボンのモデル的施設になることを目指してもよいのでは。
- ・(集約について) 母子保健担当(保健センター)は、子育て世帯が利用しやすいようにするため、また、子ども家庭総合支援拠点(要保護児童対策地域協議会)や子育て世代包括支援センターの連携のため、本庁舎内か、隣接建物としてほしい。
- ・(集約について) 延床面積の減少を伴う施設の集約化や複合化については、国の地方財政措置(公共施設等適正管理推進事業債)があり、結果的に町が負担する整備費用が安くなる。

【委員の意見】

- ▷ 施設間の移動を減らすため庁舎機能を集約することは必要だと思う。庁舎で創る再生可能エネルギーで一部を賄うことはこれからの時代に必要だと思う。人口が減ってくると税金の収入も減るため、長期的な視点でのコスト低減は絶対必要である。この案を支持する。
- ▷ 庁舎施設を一か所に集約して、来庁者や職員がスムーズに利用したり、業務を行ったりすることができるようになるといい。町有の建物が何か所もあると維持管理や移動で不経済だと思う。
- ▷ 実現のために「機能性や実用性を重視し、ランニングコストを含め、経済性を考慮したデザインにする。」というのはいかがか。
- ▷ 個人的には、「4 環境に配慮し経済的な庁舎」の庁内の意見にあるように、「見た目より機能性や実用性を重視すべき。シンプルな庁舎がいい。」に賛成。見た目に予算を割く

より、職員にとって働きやすくなる機能面を充実させるべき。

- ▷ 「何よりも維持管理のしやすさを優先に」という考えには大賛成。
- ▷ リサイクルや資源の循環を重視したい。
- ▷ SDGs の達成に向けた取組を取り入れたらいいと思う。
- ▷ 環境面の配慮も必要だと思うが、施設としてはもともと CO2 を大量に排出するという事はないと思うので、法律などの指針をクリアすればよいのではないかと思う。

【委員長コメント】

環境関連，コスト・マネジメント，建物整備を意識しつつ整理すると理解しやすくなると思います。

5 (仮) 議会について

※ 議会に関することについては、項目を設けるかどうかも含めて別途議会の意見をヒアリングする必要があると考えたことから、検討委員会に提示した素案では、議場や議会に関するスペースの整備についての庁内意見のみ記載しました。

【庁内の意見】

- ・ワークショップ開催など、町民と議会のコミュニケーション促進の場として様々な利活用が可能となるよう、レイアウトの変更が容易に行える可動式の議場家具（固定しない机や椅子）などを検討してもよいのでは。
- ・議会棟を整備するのであれば、項目を設ける必要はないのでは。単に「親しみの持てる空間」や「有効（多目的）活用」という内容なら「1 誰もが使いやすく親しみやすい庁舎」の中に盛り込めばよいのでは。

【委員の意見】

- ▷ 議会については、議会の設置意義を考えれば、明確な方針を出すことが必要だと思う。
- ▷ 議場をはじめとする議会用のスペースは、議会のみで使用するのではなく、誰もが活用できる場所として有効活用して欲しい。
- ▷ 町民が議会を身近に感じるよう、議場は多目的に有効に使えるようにしたらいいのではと思う。
- ▷ 議会スペースは多目的に使用できるものを整備して欲しい。

【委員長コメント】

私は議場の多目的スペース化には賛成です（あくまで私見）。

その他の意見

- ▶ 「高根沢町新庁舎整備庁内検討会議」を組織し、庁内の意見調整を行ったことは良かったと思う。基本方針の素案についてはこれでいいと思う。
- ▶ 良い素案ができたと思う。庁舎を利用する側の意見だけではなく、そこで働く人の意見（新庁舎整備庁内検討会議の意見）を入れたことで、新庁舎のイメージがより具体的になった。
- ▶ 新庁舎整備の基本構想や基本計画等について、仰々しく設定する必要は無いのではないか。もっと簡単に、簡潔に考えていけばいいのでは。
- ▶ 大田原市の施設「トコトコ大田原」の子ども未来館（わくわくらんど）に大型遊具が設けてあり、新庁舎にも同じように大型遊具を設けたらいいと思う。悪天候でも、子どもたちが安心して屋内で遊べる施設があるといいと思う。
（※トコトコ大田原…田原市の中心市街地に位置し商業施設（1階）、公共公益施設（2～4階）、住宅（5～7階）の3つの用途で構成され、中心市街地の活性化を図り、地域社会、地域経済の発展に資することを目的とした施設）
- ▶ 喫茶コーナー等があると良いと思う。
- ▶ 喫煙者のことを考慮し、喫煙所を設けて欲しい。
- ▶ 文書保管のスペース確保も重要なファクターだと思う。
- ▶ 1～4の方針は最終的にSDGsとも繋がる内容かと思った。もしそうであれば、SDGsの17項目に対して、今回のプロジェクトの活動がどこでどの項目に繋がっているのか？等を見える化（マッピング・ストーリー化）することで、高根沢町としてのSDGsへの貢献も発信していくことが可能かと思った。

【委員長コメント】

基本方針はあまり多くのことは記述できないので、あくまで方針ということと、全項で階層性やカテゴリーに留意して記載すると思います。